

16 前立腺癌

※ レジメン名称を **クリック** または **Ctrl +クリック** してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“**現在のページを印刷する**”を選んでください。

	分類	コード	レジメン名 称	備 考
1	共通	16001-1A	DP 療法	
2	共通	16002-1B	カバジタキセル療法	患者限定
3	共通	16003-1A	VP-16+CBDCA 療法(前立腺)	患者限定(VP-16)

16001

前立腺癌

DP療法

申請科

泌尿器科

H27.7 改訂 H30.4 改訂 H31.2 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
ドセタキセル (docetaxel)	70mg/m ²	div. (2h)	Day1
プレドニン (prednisolone)	10mg/Day (分2;朝・昼)	p. o.	Day1~21

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約:3時間で登録

Regimen

内服	day1~21 プレドニン錠(5mg) 2錠分2 朝・昼食後		
30分	メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
2時間	側①生理食塩液 500mL ドセタキセル ()mg 1B		備 考
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		<p>【レジメンシステム登録】</p> <p>16001-1A DP療法(入院用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デキサート注は、6.6mgで登録 ・プレドニン錠 <p>【入院】レジメン内処方で服用</p> <p>【外来】院外処方オーダー</p> <p>16001-2A DP療法(外来用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デキサート注は、6.6mgで登録 ・プレドニンは院外処方内服オーダー

16002

前立腺癌

カバジタキセル療法

申請科

泌尿器科

H26.9 承認 H27.7 改訂 H30.12 改訂 H31.2 改訂 R2.3 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
ジェブタナ (Cabazitaxel)	25mg/m ²	div. (1時間)	Day1
プレドニン (Prednisolone)	5mg × 2回/day (分2:朝・昼)	p. o.	Day1～21(連日投与)
ジーラスタ皮下注 (Pegfilgrastim)	3. 6mg	皮下	化学療法終了 24～72時間後

原則3週毎(適宜延長)

効果なくなるまで

化療ベット予約:2時間30分で登録

Regimen

内服	day1～21(連日投与)	day2～4 のうちに1回投与 ジーラスタ皮下注3. 6mg 1本
	備 考	
15分	day1 メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A	・ジェブタナ点滴静注にはエタノールが含まれているため、投与前に必ず問診等を実施し、アルコール過敏、アルコール不耐症の有無を確認すること。 ・0.2又は0.22μmのインラインフィルターを通して投与すること。 【レジメンシステム登録】 16002-1A カバジタキセル療法(入院) 16002-2A カバジタキセル療法(外来用) ・プレドニン錠 【入院】レジメン内処方で服用 【外来】院外処方オーダー
30分	側①生理食塩液 100mL 1B	
1時間	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B ジェブタナ ()mg	・ペグフィルグラスチムの投与日は day2 で登録 抗がん剤投与終了後、24時間以降3日後くらい(day2～4)までに皮下注射する。 ・2018年12月委員会にてジーラスタ皮下注を追加登録
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B	

16003	前立腺癌	VP-16+ CBDCA 療法 (前立腺)	申請科 泌尿器科
-------	------	--------------------------	-------------

H30.5 登録 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R6.9 改訂 **R7.6 改訂**

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
エトポシド (etoposide)	80mg/m ²	div. (90min)	day1, 2, 3
カルボプラチン (carboplatin)	AUC=5	div. (60min)	day1

3~4週毎

CBDCA 投与量=AUC 目標値 × (GFR+25)mg/body

GFRはCCrの値で換算する。(GFR=Ccr × 体表面積/1.72)

Regimen

	day1		day2, 3
5分	メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V	10分	メイン①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V
90分	側①5%ブドウ糖液 500mL 1B エトポシド注 ()mg	90分	側①5%ブドウ糖液 500mL 1B エトポシド注 ()mg
5分	側②生理食塩液 50mL 1B	5分	側②生理食塩液 50mL 1B
60分	側③5%ブドウ糖液250mL 1B カルボプラチン ()mg		
5分	側④生理食塩液 50mL 1B		

備考

< CBDCA AUC \geq 4 中等度:推奨制吐剤>現行に追加
アプレピタント 125mg 1CP 分1 化学療法前
アプレピタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2, 3
・アプレピタントは内服処方オーダ
・アプレピタントを処方する場合はデキサート注を 3.3mg(1.65mg/2A)に変更

【レジメンシステム登録】

16003-1A VP-16+ CBDCA 療法(前立腺)

・1ケール3週間で登録